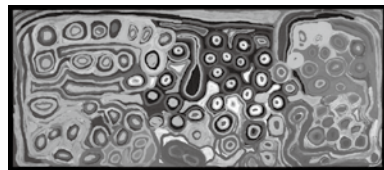


企画展

「ワンロード」

現代アポリジニアートの世界」
本展では、オーストラリア西部の砂漠を縦断する1850キロメートルの一本道キャンピング牛追いルーグを題材としたアポリジニアートを取り上げます。オーストラリアにおける先住民社会の過去から現在までの変化を視野に入れた、絵画に映像資料を交えて紹介します。



《クンクン》Kunkun 2008年
ノラ・ナンガバ、ノラ・ウォムビ、フガイ・ワイロウタ、クムバヤ・ギルガバ(マトウミリイ・アーティスト)
オーストラリア国立博物館蔵

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

中央・北アジアとアイヌの文化展示が
新しくオープン
6月16日(木)に、中央・北アジアとアイヌの文化展示が新しくなります。みんなくで新しい「世界一周」にでかけてみませんか。
会場 本館展示場

中央・北アジアを駆けめぐる
夏のみんぱくフォーラム2016
中央アジアからモンゴルを経てシベリアまで、広い大地を駆けめぐるように、現地の多様な文化と社会をイベントをとおして紹介します。

◆「ワンロード」展の世界

◆「ワンロード」展の世界
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

「山嶺の女王クルマンジャン」
7月18日(月・祝)
「くるみの木」
時間 13時30分～16時30分(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券

音楽の祭日2016 in みんなく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなくで音楽を楽しむ「音楽の祭日」がはじまりました。みんなくでも、世界のさまざまな楽器を使って「音楽の祭日」を祝います。
日時 6月19日(日)
10時25分～16時35分(10時開場)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

特別展示館
本館エントランスホール
※申込不要、参加無料(当日は無料観覧日です)
お問い合わせ先
企画課 博物館事業係
06・6878・8532

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル——世界の「台所」」
好評につき大阪・梅田のナレッジキャピタルで第4弾を開催！
時間 19時～20時30分
会場 グランフロント大阪北館1階
ナレッジキャピタル「カフェラボ」
※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名
主催 国立民族学博物館
一般社団法人ナレッジキャピタル
6月8日(水)
人生は明るく楽しく——ルーミアの食文化
講師 新免光比呂(本館准教授)
6月22日(水)
セネガルの食事情——クスクスとご飯
講師 三島禎子(本館准教授)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

「山嶺の女王クルマンジャン」
7月18日(月・祝)
「くるみの木」
時間 13時30分～16時30分(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券

音楽の祭日2016 in みんなく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなくで音楽を楽しむ「音楽の祭日」がはじまりました。みんなくでも、世界のさまざまな楽器を使って「音楽の祭日」を祝います。
日時 6月19日(日)
10時25分～16時35分(10時開場)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

6月8日(水)
人間にとってスイカとは何か
——カラハリ狩猟民と考える
講師 池谷和信(本館教授)
6月22日(水)
仮面の世界を探る
アフリカとミュージアムの往還
講師 吉田憲司(本館教授)
お申込み・お問い合わせ先
ウェーブ産経ナレッジキャピタル係
06・6633・9087

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

◆「ワンロード」展の世界
アポリジニアートとオーストラリア
日時 7月8日(金)14時30分～15時
話者 窪田幸子(神戸大学教授)
場所 企画展示場
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂 定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示を観覧の方は展示観覧券が必要です)
第457回 6月18日(土)
ポスト移行期モンゴルの文化変容
講師 小長谷有紀(本館併任教授)



2011年8月モンゴル国アルハンガイ県
撮影・テクネ株式会社

モンゴルは世界で2番目に社会主義国となり、その後市場経済へ移行、現在はポスト社会主義期を経て、ポスト移行期を迎えています。新展示ではこうした歴史が生活や信仰に与えた影響を表しました。

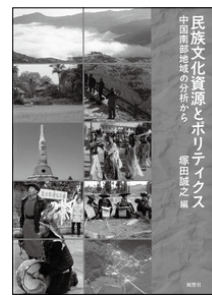
みんなくウィークエンド・サロン

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。4月からテーマによって実施時間が30～60分になりました。

6月26日(日) 14時30分～15時
オセアニア展示場、企画展示場
オーストラリア先住民アポリジニアートとワンロード
話者 丹羽典生(本館准教授)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

刊行物紹介

■塚田誠之 編
『民族文化資源とポリティクス——中国南部地域の分析から』
風響社 5,000円(税抜)



現代の中国、とくに南部に居住する多様な民族に焦点をあてて、政府、知識人、企業、一般民等諸主体がどのように関与し、文化がどのように保存・発展・利用され資源化されているのか、またそこにいかなるポリティクスが働いているのか、生態文化、年中行事、観光化、歴史の諸方面から分析した。

■河合洋尚 編
『景観人類学——身体・政治・マテリアリティ』
時潮社 3,500円(税抜)



グローバル化の中で自然・社会・文化が激しく変動しつつある現在、身体—環境関係の再考から既存のパラダイムを転換しようとする景観人類学が目ざされつつある。本書は、海外の研究動向を踏まえ、この分野の新たな可能性を探る試みである。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円
第456回 7月2日(土)13時30分～15時30分
新中央・北アジア展示場
中央アジアのイスラーム——ある家族の物語から
講師 藤本透子(本館助教)
中央アジアに生きるテュルク系・イラン系の民族は、おもにスンナ派イスラームを信仰しています。宗教は消滅すべきものとして、社会主義に基づく近代化が押し進められた連時代をはさんで、イスラームとの向き合い方も大きく様変わりしました。本講演会ではカザフスタンに暮らすある家族に注目し、世代や個人によるイスラームの受け止め方の違いについてお話しし、中央アジアにおけるイスラームの変容と継承の在り方をさぐります。
※講義(70分)終了後、中央・北アジア展示場の見学会をおこないます。

第457回 8月6日(土)13時30分～15時30分
フィリピンから海外に向かう人びと——日本の事例を中心に
講師 永田貴聖(本館機関研究員)

東京で連続講座を開催
「素顔の地球に出会う——人類学者たちのフィールドワーク」

現地におもむき、人びとと暮らしをともにしながらおこなうフィールドワーク。研究論文からはこぼれおちてしまうような、研究成果の舞台裏を、研究者がお話しします。

会場 モンベル渋谷店5Fサロン
時間 各回とも13時30分～15時30分
参加費 一般各回1000円(3回一括2500円)、
会員無料 ※要事前申込、先着順

6月11日(土) 講師 印東道子(本館教授)
南太平洋のサンゴ島を掘る——女性考古学者の謎解き

9月10日(土) 講師 池谷和信(本館教授)
人間にとってスイカとは何か——カラハリ狩猟民と考える

11月12日(土) 講師 佐々木史郎(国立のアイヌ文化博物館(仮称)設立準備室 主幹)

シベリアで生命の暖かさを感じる